

# 「平成30年7月豪雨」災害対応に係る情報 <No.9>

平成30年8月1日 (水) 15:00 (計1枚)

※この情報は、県内市町村社会福祉協議会、県経営協会員等の関係機関にお送りしています。

※県社会福祉協議会ホームページにも掲載しています。

【連絡先】社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会 総務・資金部(地域連携班)

〈HP〉 [www.wakayamakenshakyo.or.jp/](http://www.wakayamakenshakyo.or.jp/)

TEL:073-435-5224/FAX:073-435-5226

## 1 近畿ブロック「災害時の相互支援に関する協定」に基づく活動

### — 岡山県倉敷市災害ボランティアセンター運営支援 第3クールから第4クールへ —

7月28日(土)からの第3クール(和歌山市社協:市橋、田辺市社協:西崎、県社協:手崎)は箭田(やた)サテライトの担当でした。

28~30日までは、台風接近の影響を考慮し、ニーズの整理・調整を行うなど、今後に向けた準備を行いました。

31日にはボランティア活動を再開し、441名の方にご参加いただきました。

本日(8月1日)6時前に第4クール(田辺市社協:芝峰、日高川町社協:西谷、県社協:吉垣内)が出発しました。



#### 〈倉敷市災害ボランティアセンター〉

- ・7月31日までに17,000人を超えるボランティアが活動しています。
- ・ボランティアセンターは、地域のさまざまな方々や、NPO・企業・団体・大学・生活協同組合などの協働運営です。
- ・倉敷市は広域に被害を受け、本部のほか、サテライトなど市内11カ所に拠点を設け、被災者に寄り添う活動を行っています。

田辺市の梅農家さんからいただいた30kgの梅干を、田辺市社協職員が小分けして現地へ届けました！



## 2 被災地支援のためのボランティアバス運行 — 第3陣20名、岡山県倉敷市で活動 無事に帰着 —

7月30日深夜に出発したボランティアバス一行が、31日の活動を終え、和歌山に帰ってきました。現地では、被災したお宅の家具や畳等の搬出や整理を、2グループに分かれ活動しました。



#### 〈参加者の声〉

- ・とにかく暑かったので、無理せずこまめに休憩を取ることを意識した。
- ・活動後に被災者の方から「ありがとう」「頑張るからね」という言葉に未来が見えたような気がした。
- ・現地の送迎ボランティアが足りておらず、活動時間が短くなった。
- ・ボランティア活動に参加するまでは、震災や水害はどこか他人事のような気持ちで報道を見ていたが、被災者一人一人、水につかった一軒一軒に思い出やストーリーがあるんだと実感した。